

NASVAプレスリリース

平成27年11月19日

簡単・確実・安全なチャイルドシートの取付体験
などの各種「交通安全のイベント」も実施します。

独立行政法人自動車事故対策機構

大阪主管支所 柏原（かしはら）・波場（はば）

電話 06-6942-2804

近畿初開催 自動車アセスメント「JNCAPファイブスター賞」表彰式

～最新の自動車アセスメント試験で「安全性能が最高評価」の自動車も展示します～

独立行政法人自動車事故対策機構【NASVA（ナスバ）】は、11月27日（金）から29日（日）の間、「京都駅中央広場」で近畿地方で初めてとなる、平成27年度前期「JNCAPファイブスター賞」の表彰式（27日12時から12時半）を行うとともに、受賞車両の展示（実際に試験を行ったもの）等によるNASVAの事業の広報活動を実施します。

また、シートベルトを使わない簡単・確実・安全なチャイルドシートの取付体験や、最終日には交通事故の被害者交流会も実施します。

ご多忙の折とは存じますが、取材の検討を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

○自動車アセスメント「JNCAPファイブスター賞表彰式」

（27日12時から12時半に開催予定。写真はイメージ）

安全性能の最高評価を受賞した自動車メーカーに対して、表彰状、メダルの授与を行います。



○自動車アセスメント試験車両展示（写真はイメージ）

最新の自動車アセスメント試験結果において、安全性能の最高評価を受賞した自動車を展示します。万一の事故の時でも車内空間が保たれているなど、最高評価の自動車の安全性能をご覧ください。



※報道機関の皆様には、高速度カメラで撮影した二次使用可能な様々な試験映像（DVD）を差し上げます。

○シートベルトを使わないチャイルドシート取付体験（写真と図はイメージ）

シートベルトを使わない「簡単」「確実」「安全」なISO-FIX対応チャイルドシートの取付体験を実施

します。チャイルドシートの使用率は62.7%（全国平均、詳細は末尾）ですので、これを機に使用される方が増えることを期待しています。



○交通事故被害者交流会（写真はイメージ）

京都府内の交通事故被害者（遺族や重度後遺障害者）の方をお招きして、自動車アセスメント等をテーマにした交流会を行います。



○概要

1. 日時

○表 彰 式 平成27年11月27日(金) 12:00～12:30

表彰式にはファイブスター賞を受賞した自動車メーカー担当者や交通事故被害者も参加します。

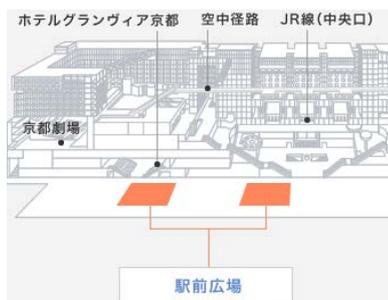
○車両展示等 平成27年11月27日(金) 12:30～17:00

平成27年11月28日(土) 10:00～17:00

平成27年11月29日(日) 10:00～15:00

○交通事故被害者交流会 平成27年11月29日(日) 10:30～15:00

2. 場所 京都駅中央口「駅前広場」ホテルグランヴィア京都前(写真はイメージ)



3. 後援 国土交通省 近畿運輸局 京都市交通局 NHK京都放送局

(参考)

○自動車アセスメント

自動車アセスメントとは、市販されている自動車やチャイルドシートについて安全性能評価試験を行い、その結果を公表することで、ユーザーが安全な自動車・チャイルドシートを選択できる環境をつくり、安全な自動車・チャイルドシートの普及を図ることを目的としています。



○フルラップ前面衝突試験



○オフセット前面衝突試験



○側面衝突試験

(主な試験)

自動車アセスメントでは、衝突安全性能について最高評価を受けた自動車に対して、JNCAPファイブスター賞として表彰し、以下の表示ができることとしています。



また、平成26年度より、衝突被害軽減ブレーキと車線逸脱警報装置の評価（予防安全性能アセスメント）も始めました。



なお、NASVAは、国土交通省からの指定（大臣告示）により、自動車アセスメントに係る実務を行っています。

○ISO-FIX対応チャイルドシート



チャイルドシートのミスユース(腰ベルトの締付け不足等)は6割にのぼっています(警察庁調査結果)。ISO-FIX 対応のチャイルドシートは、シートベルトではなく共通取付具で座席とチャイルドシートを固定するため、簡単・確実に取付ができ、アセスメント試験でもシートベルト装着方式より安全性が高い結果が出ております。

※2012年7月以降発売の自動車は全てISO-FIXに対応しており、それ以前も多数対応の自動車があります。

○独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA：ナスバ）

NASVAは、人と車の共存を理念として、自動車事故の発生防止及びその被害者への援護のために、主に次の業務を行っています。



① 安全な自動車の普及促進のために、公正中立な立場で自動車の安全性能を評価し、効果的に周知する自動車アセスメント事業を実施

② 自動車事故の発生防止のために、

- 運行管理者等指導講習により、運行の安全確保に必要な管理手法の習得を支援
- 運転者適性診断により、安全運転のためのきめ細かなアドバイスを実施
- 安全マネジメント講習会等により、事業者による安全マネジメントを促進
- 運輸安全マネジメント評価・コンサルティング等により、個別事業者の安全マネジメントを支援

③自動車事故による被害者の方のために、

- 介護料の支給や医療施設の設置・運営による重度後遺障害者への援護
- 育成資金の無利子貸付や友の会の運営・家庭相談による交通遺児等への援護

※NASVAの事業についての詳細は、NASVAホームページ(<http://www.nasva.go.jp>)をご覧ください。

(参考資料)チャイルドシート使用状況全国調査(2015) 警察庁／日本自動車連盟(JAF) (抜粋)

■使用状況調査結果(使用率の経年推移:6歳未満全体)

